

夜間の冷え込みが強くなってきましたね。ともないえでも暖房をつけてはいますが、毛布や電気アンカを使用される方も数名いらっしゃいます。先日はそんな寒い毎日にホッとできる、アツアツのお好み焼きを作りました。ご家族の皆様も体の芯から温まるものを食べて、体調を崩さぬよう、お過ごしくださいね。

また裏面には、面会のお願いを書かせていただきました。いろいろな制限のある中ですが、ぜひ内容をご確認いただき、ご検討ください。

ともだより

NO.92 令和4年12月

グループホーム ともないえ
あわら市二面2丁目 302 番地
TEL:0776-77-2261
直通:090-5681-3863
ホームページ:www.naruza.jp/

11月はお好み焼きづくりをしました。
女性ばかりということもあり、皆さん分担して手際よく作られていました。
アツアツのお好み焼き、とても美味しそうでした！！



★グループホームともないえの精神★

- 理念 安心・楽しみ・笑顔のある第二の我が家
目標
- ・安全に配慮し、家庭的で落ち着いた生活を送れるよう支援します
 - ・真剣に傾聴し、お一人おひとりの楽しみのもてる生活を支えます
 - ・あたたかい気持ちと笑顔で接し、信頼関係を築きます

今月の行事

忘年会



～ご家族様へのお願い～

ご面会をお待ちしております！！



新型コロナウイルスが流行する前は、ご家族の面会や外出、外食、たまに自宅への数日間の帰宅など、ともにいえの入居者様も頻繁にされていました。しかしコロナ禍の中、これらのことが約3年間制限されています。現在は面会ルームでの面会は再開しておりますが、様子を見てみると、なかなか会話がつながらなかったり、ご家族だと気づかなかつたりという光景がみられています。マスクで顔半分が隠れていることにより、顔を識別することの難しさや不安を訴える方もいらっしゃいます。

このように会話が通じなくなってきたりすると、「面会しても意味がないんじゃないか」と感じる方がいらっしゃるかもしれません。しかし、私たちとしては**積極的に面会をして、ご本人に話しかけてほしい**と思っています。本人との話題に困る場合は、家族のことや最近のできごと、街の様子や思い出話、何でも構わないと思います。**本人と話が通じなくても「話して笑う」の繰り返しで十分**です。

入居者様の中には、「外に出る機会が減り、足腰の力が弱くなった」「食欲がわからない」「気力がなくなった」などの症状がみられる方がいます。また、「着替えや必要なものは届けに来るのに、どうして顔を見せに来ないのか」「どうして迎えに来てくれないのか」などと**ご家族に対し不満や怒り**が強くなっている方もいらっしゃいます。会えなくなった子どもや孫のことに思いを馳せて悲しくなり、「お願いやから家族に電話して」と泣きながら訴えてこられる方もいらっしゃいます。『どんなにスタッフが力を尽くしても、家族と一目会う時間にはかなわない』のが現実です。

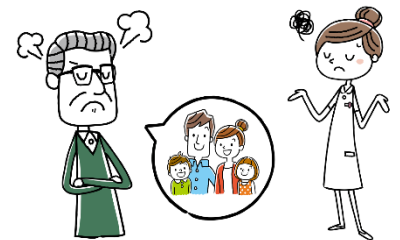
心身の機能低下が進行し精神的に不安定になると、入居者様同士でのトラブルや、入浴や食事の拒否などにつながり、**より一層の認知機能の低下**や、思わぬ怪我、清潔を保てないことによる感染症への感染、栄養を十分に摂れないことによる体調不良などになる場合もあります。

面会がなかなか難しい場合は、**電話や手紙、写真など**でも構いません。入居者様にご家族様のあたたかな思いを届けていただけたらと思います。年末年始など、ご家族やご親戚が集まった時などに、一度ご検討ください。

通じなくても「話して笑う」の繰り返しで十分



面会でせずに家族へ不満が向くことも



対面以外の交流を圆ることが大切



ご面会時の注意点

- ①事前にお電話やメール等でご予約下さい。
- ②一回の面会時間・人数は20分・2人までです。
- ③当日体調が悪い場合、身近にコロナ感染者の方がいらっしゃる場合は面会をお控えください。
- ④飲食はご遠慮ください。
- ⑤面会中は職員がサポートさせていただきます。